

平成29年第8回定例教育委員会

平成29年8月29日(火)午後2時30分  
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長	月 田 健 二	説明員	教育部長	渡 部 丈 司
	委員	支 部 英 孝		教育部次長	萬 直 樹
	委員	橋 本 幸 子		学校教育支援室長	
	委員	林 大 輔			伊 藤 忠 信
	委員	須 田 壽美江		総務課長	山 崎 正 樹
				学校教育課長	廣 田 修
				教育支援課長	松 井 正 行
				給食センター長	鈴 木 知 幸
				対雁調理場長	鈴 木 正 春
				生涯学習課長	天 野 保 則
				スポーツ課長	三 浦 洋 博
				情報図書館長	山 岸 智 幸
				郷土資料館長	櫛 田 一 志
				郷土資料館主幹	兼 平 健 一
			記録員	総務課総務係長	嶋 中 健 一
			傍聴者	1名	

---

1 報告事項

- (1) 平成29年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果について

2 審議事項

- (1) 平成29年議案第27号  
平成30年度に使用する小学校用教科用図書の採択について
- (2) 平成29年議案第28号  
平成30年度に使用する中学校用教科用図書の採択について
- (3) 平成29年議案第29号  
平成30年度から使用する小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について

3 その他

- 各課所管事項について
- (1) 青少年キャンプ村こんがり王国の実施結果について
- 次回教育委員会予定案件について
- 平成29年第9回定例教育委員会の日程について

会 議 録

月田教育長	<p>(開会)</p> <p>ただいまから、平成29年第8回定例教育委員会を開会いたします。</p> <p>本日の議事日程は、配付のとおりであります。</p> <p>会議に先立ち、本日の会議録署名人を、須田委員にお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>1の報告事項(1)平成29年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果についての報告を求めます。</p> <p>山崎総務課長をお願いします。</p>
山崎総務課長	<p>報告事項(1)平成29年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果についてご報告いたします。</p> <p>資料1ページをご覧ください。</p> <p>平成29年度の第1回学校一斉公開は、私立の立命館慶祥中学校を含む、市内の全小中学校27校において、去る6月15日に実施しております。見学者は、延べ1,499人で昨年度同時期の見学者数1,552人から53人減少しております。</p> <p>また、アンケートの回答者数は576人で、見学者の38%に当たり、昨年度同時期の回答者数より12人減少しております。</p> <p>次に、アンケートの集計結果の概要については記載のとおりでございます。</p> <p>設問の主なものについてご説明申し上げます。</p> <p>問2「今回、学校一斉公開に来られたのは。」については、「初めて」と回答した人の割合が、小中学校全体では昨年度同時期とほぼ同じですが、中学校では増加しております。</p> <p>問3「今回、他の学校も見学する予定ですか。」については、複数の学校を見学する人の割合が、中学校で大きく減少しております。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>問6「学校は地域に開かれていると思いますか。」では、「開かれていると思う」と回答した人の割合が、小中学校全体では昨年度から減少しており、小学校では昨年度と比べて6%減、中学校では3%増になっております。</p> <p>3ページをご覧ください。</p> <p>問9の「児童・生徒の様子」は、小学校においては、「大変よい」と「よい」と回答した人の割合が、昨年度同時期とほぼ同じですが、中学校は増加しております。</p> <p>自由記載欄では、「元気に挨拶をしてくれた」「授業に集中している」などの意見が多くありました。</p> <p>なお、その他の内容については、4ページから8ページに掛けまして、学校の印象、児童生徒の様子のほか、江別市の教育等に関する意見や感想などを掲載しておりますので、こちらについてもご参照いただければと思います。以上でございます。</p>
月田教育長	<p>ただいま報告のありました、平成29年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果について、質問等がございましたらお受けします。</p>
須田委員	<p>学校一斉公開日は、今年で何年目になるのでしょうか。</p>
渡部教育部長	<p>平成14年から実施していますので、今年で16年目になります。</p>
須田委員	<p>その最初の頃と今回とを比べると、アンケートの結果はだいぶ違うのでしょうか。</p>
渡部教育部長	<p>手元に当時の資料がないのでお答えできないのですが、もともと学校一斉公開は、地域に開かれた学校づくりという趣旨で開始しているものですし、当時は、学校選択制を導入したのと同じような時期でもあります。学校に関係のある、保護者以外の地域の方々も参加できる機会となっておりますので、過去と比べてもより身近な存在になっており、これが現在のコミュニティ・スクールに繋がってきていると認識しています。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p>
林委員	<p>自分の家族や孫がいない方が5割ぐらい参加していて、初めて学校一斉公開に来たという方が5割ぐらいいらっしゃる。これは、保護者以外の方が学校一斉公開を知る機会というのは、どういうものがあるのでしょうか。</p>
山崎総務課長	<p>ホームページのほか、広報えべつ、自治会回覧などで周知しております。そういう意味でも、いろいろな方がいらっしゃる状況に繋がっていると考えています。</p>

林委員	これだけの方が、毎年初めて参加していると回答していますので、広報の効果が出ているという認識でいいのでしょうか。
山崎総務課長	そういう認識でよろしいと思いますが、そのほかにも、お子さんが就学年齢になった場合などに、その親御さんや近所の方が見に来られますので、初めて参加したという形になるのだろうとも考えています。
月田教育長	学校だよりも学校一斉公開のお知らせは必ず書いてありますので、地域の方々が来るということに繋がっているのかなと思います。特に、江別第一小学校や江別太小学校などの新しい校舎は、皆さんがご覧になりたいということで、ほかの地域からも学校一斉公開の際に行っているのではないかと思います。
橋本委員	自治会用の回覧が回ってきますね。我が子がないのに半分ぐらいの方が見に来ていますから、学校一斉公開を実施する意味というのがあるのかなと思います。 そこで、気になった意見があります。学校の図書室を充実させてほしい。昭和時代の古い図鑑があつてびっくりした。図書館司書の配置をお願いしたいという内容の意見が、7ページの下の方にあります。私もびっくりしたのですが、司書さんも回っているかと思えますので、早急に整理をしていただくようお願いしたいと思います。
山崎総務課長	学校司書は年度ごとに各学校を巡回しているのですが、書架の在り方とか見せ方とかの整理をしたいと思います。そういった方や図書館ボランティアによって学校図書館の図書整理を担っているのですが、年によって担える部分、担えない部分も若干あるのかなと考えています。
月田教育長	ほかに質問等はございますか。
須田委員	支援高校があれば良いという意見が7ページにあるのですが、稚内市の研究大会のときにも高校生ボランティアによる支援の話が出たのですが、どのような意味でしょうか。
渡部教育部長	おそらく、高等支援学校が江別市内にあってもいいのではないかと意見かと思えます。札幌盲学校の跡地に高等支援学校を誘致しようという動きがこの数年ありますので、そういう趣旨の要望ではないかと認識しています。
須田委員	高校生が学校へ支援に入るという意味ではないのでしょうか。
渡部教育部長	高校生による学校の支援というよりも、小学校や中学校で特別支援学級に通っていた方など、支援が必要な子供が学校を卒業した後の対応について要望が出ておりますので、そういう意味で高校の支援学校があれば良いという意見かと捉えています。
月田教育長	ほかに質問等はございますか。 (質疑終了) それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承) 続いて、2の審議事項に入ります。
廣田学校教育課長	(1)平成29年議案第27号 平成30年度に使用する小学校用教科用図書の採択について(2)平成29年議案第28号 平成30年度に使用する中学校用教科用図書の採択について、及び(3)平成29年議案第29号 平成30年度から使用する小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について、以上3件についての一括説明を求めます。 廣田学校教育課長お願いします。 私から、議案第27号から議案第29号まで、一括してご説明いたします。 まず、議案第27号 平成30年度に使用する小学校用教科用図書の採択についてご説明いたします。 教科用図書の採択につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び同法施行令第15条の規定により、採択した教科用図書の発行が行われないうなど特別な場合を除き、4年間、毎年度種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとされており、 平成30年度から新たに教科化される「特別の教科 道徳」以外の教科については、既に、平成26年第8回定例教育委員会における採択の際に、選定理由書の内容を確認し決定していることから、平成30年度に使用する小学校用教科用図書につきましては、平成26年に採択したものと同一教科用図書を採択しようとするものです。

既に採択された教科用図書は、2ページの平成27年度から使用する小学校用教科用図書採択一覧に記載のとおりです。

次に、「特別の教科 道徳」については、平成28年度に文部科学省が教科用図書の検定を行ったことから、石狩管内の7市町村で構成する第1地区教科用図書採択教育委員会協議会において、平成30年度から使用する教科用図書を共同採択されたことを受け、江別市教育委員会として教科用図書の採択についての承認を求めるものであります。

3ページをご覧ください。

平成29年度第1地区教科用図書採択日程についてですが、今年度は5月10日に第1回第1地区教科用図書採択教育委員会協議会が開催され、教科用図書の専門的な調査研究を行うための調査研究委員会の設置、調査研究委員候補の推薦等について協議されております。

6月12日に開催されました第2回の協議会では、調査研究委員の決定や公表書類等について協議されております。

この調査研究委員会は、学識経験者、学校関係者、保護者から組織された総数7名の委員で構成され、江別市からは、学校関係者1名が調査研究委員として委嘱されております。

6月16日から7月5日までの実質14日間、江別市教育庁舎及び江別市情報図書館にて教科書展示会を実施しております。

この間の来場者数は、教育庁舎には7人、情報図書館34人、合計41人となっており、29件の意見が寄せられております。この寄せられた意見は協議会全体で共有されており、採択協議の際の参考にされております。

6月27日には、北海道教育委員会から採択参考資料の通知があり、協議会を通じて調査研究委員会に資料提供があったものであります。8月2日の第3回の協議会では、平成30年度から使用する小学校用「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択協議並びに決定が行われたところであり、その結果について、8月16日に協議会から江別市教育委員会に通知がありました。この協議会において採択が決定した教科書につきましては、2ページにあります「平成30年度に使用する小学校用「特別の教科 道徳」の教科用図書採択一覧に記載のとおりです。

なお、「特別の教科 道徳」の教科用図書の選定理由については、4ページにあります平成30年度から使用する小学校用「特別の教科 道徳」の教科用図書の選定教科書名及び選定理由等についてに記載のとおりでございます。

次に、議案第28号 平成30年度に使用する中学校用教科用図書の採択についてご説明いたします。

中学校用教科用図書については、「特別の教科 道徳」以外の小学校用教科用図書と同じく、平成27年第8回定例教育委員会における採択の際に選定理由書の内容を確認し、既に決定していることから、平成30年度に使用する中学校用教科用図書につきましては、平成27年に採択したのと同じ教科用図書を採択しようとするものです。

採択済みの教科用図書は、2ページの平成28年度から使用する中学校用教科用図書採択一覧に記載のとおりです。

次に、議案第29号 平成30年度から使用する小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択についてご説明いたします。

小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、学校教育法附則第9条により、文部科学省検定済教科書及び文部科学省著作教科書以外の図書を使用することができることとされていることから、別冊にあります北海道教育委員会が作成した、平成30年度使用小・中学部を置く特別支援学校及び小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）採択参考資料に登載されている313点の一般図書を加えて採択しようとするものです。

なお、この一般図書につきましては、北海道教育委員会から示された参考資料について、第1地区教科用図書採択教育委員会協議会が調査研究を行い、協議の結果、教科書としての使用を承認したことについて各市町村教育委員会に対して通知があったものです。

以上、3件の議案についてご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

月田教育長	<p>ただいま説明のありました3件の議案に対する質問等がございましたら、一括してお受けいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、平成29年議案第27号ないし議案第29号について承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>続いて、3のその他、各課所管事項に入ります。</p> <p>(1) 青少年キャンプ村こんがり王国の実施結果についての説明を求めます。天野生涯学習課長お願いします。</p>
天野生涯学習課長	<p>青少年キャンプ村こんがり王国の実施結果についてお知らせいたします。</p> <p>資料をご覧ください。</p> <p>項目1の参加者数ですが、8月1日から8月5日まで開催しましたこんがり王国の最終的な参加者は、419人でした。期間中の参加者数の内訳は表に記載のとおりであります。</p> <p>なお、降雨の影響により、初日の7月31日が中止となったため、当初申込みのあった456人から減りましたが、中止となった7月31日の申込み者の約75%に当たる94人が最終日に振り替えて参加しております。</p> <p>2の場所、3の参加対象及び4の主な事業内容については記載のとおりであります。期間中、初日以外は天候にも恵まれ、子供たちはテントの設営、撤収、炊事をこなし、キャンプファイヤーやゲームなどで盛り上がりおりました。</p> <p>以上です。</p>
月田教育長 橋本委員	<p>本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>以前にもお伺いしたかもしれませんが、今年もグループでの申込みのみの受付でしたでしょうか。</p>
天野生涯学習課長	<p>基本的には、5人以上8人以内のグループで申し込んでいただいております。特に少数での申込みの希望がある場合は、個別に対応することもあります。できれば大人数の中で一幕のテントで対応できるような形で実施しているところです。</p>
月田教育長 須田委員	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>グループで申し込まれていて、リピーターになっている方はいらっしゃいますか。</p>
天野生涯学習課長	<p>今年度におきましては、179人の方が過去に参加された経験があるという状況になっております。</p>
月田教育長 橋本委員	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>人数が年々減少傾向にあることから、個人での申込みも受けるように検討するようなお話もあったように思いますが、どのようにお考えでしょうか。</p>
天野生涯学習課長	<p>昨年に出た議論を踏まえまして、共催の青少年育成会などと協議させていただきましたが、1泊2日の参加ということで、小学生の場合、いきなり参加者同士の融和を図ることが可能なかどうかという話になりました。基本的に5人以上というラインは、これまでと同様に設けながらも、5人に満たないグループについても状況に応じて対応をしているところですが、ルールとして少人数でも可能とするかどうかについては、なかなか融和が図りにくいだろうということで、原則としてはこれまでどおり5人以上のグループで申込みをしていただくこととしたところです。</p>
月田教育長 支部委員	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>私も現場に行っていて感じていたのですが、キャンプを初めて経験する子供たちが多いようです。全員が集合して自己紹介をしたり、作業の分担を限られた時間の中で決めたり、キャンプスタート前の注意事項なども多くあります。ある日突然集まった子供たちが、限られた時間の中で、コミュニケーションを取りスムーズにキャンプを開始するのは難しいと思われる。</p> <p>1泊2日の中で、応援のボランティアの力を借りながら、団体行動の良さをこんがり大國の中で体験できるということが大切なことかなと理解しています。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p>

山崎総務課長	<p>それでは次に、次回教育委員会予定案件及び日程について、説明願います。山崎総務課長をお願いします。</p> <p>次回の定例教育委員会の案件でございますが、報告事項として、平成29年第3回江別市議会定例会の一般質問について、平成29年度小中学生国内交流研修事業について、審議事項として平成29年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への掲載同意についてなどを予定しております。</p>
月田教育長	<p>また、次回の定例教育委員会の日程でございますが、9月27日水曜日午後2時からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p> <p>ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は9月27日水曜日午後2時からということで、皆様よろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、以上で第8回定例教育委員会を終了いたします。</p> <p>(閉会)</p>

終了 午後2時59分

署名人（教育長） 月田 健二

署 名 人 須田 壽美江